

■天ヶ瀬再開発に関する意見及び質問

宇治市
紺谷 吉弘

天ヶ瀬再開発に関して意見及び質問を述べさせていただきます。

天ヶ瀬ダム周辺地質に関して情報を開示し、トンネル案についてダムの安全性をどのように検討したか明らかにすべきであると思います。

天ヶ瀬ダム管理事務所作成「天ヶ瀬ダム地質調査（作成年不明）」なる資料に天ヶ瀬ダム直下を通過する断層を記載した地質図が描かれている。この断層を仮に天ヶ瀬断層とよぶ。地質図の判読を試みたところ、天ヶ瀬断層はほぼ東西方向、垂直に近く、破碎帯の幅は5～10m、左ずれ約100mで、ダムの中心直下を通過している。また地質図には昭和31年1月から3月にかけて発生した左岸ダムサイトの位置に発生した大規模な土砂崩壊（いわゆる六石山崩壊）の範囲も示されている。（図1）

ダム周辺には多くの断層が認められる。地質図に記されている断層をトレースし、計画トンネル放流施設、発電用水路2本、堤外仮放水路、ダム堰堤を重ねてみたところ（図2）、アーチの形態からみて、右岸側においては、支持岩盤にはたらく力の方向は岩盤に発達する断層群（すべり面）の方向に一致するように思える。第72回委員会において右岸側の地質に関する意見を述べたが、地質図から見ると左岸側の方が右岸側よりも地盤が脆弱と考えられる。

上記の内容に関して流域委員会及び国交省の見解を示して頂きたい。

(図1)

18

20

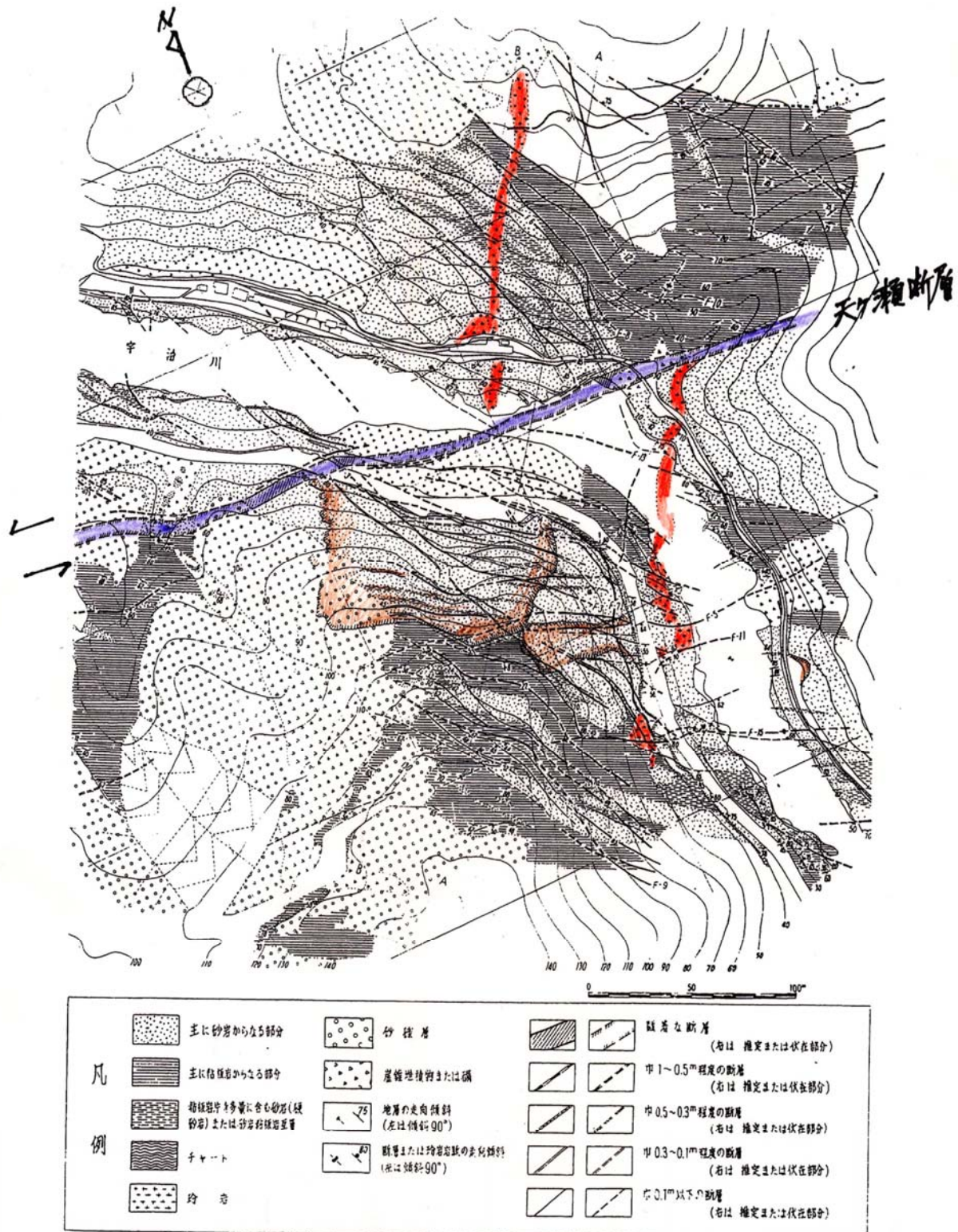


図-5 (a) グム サイト 地 質 図

